

日本古来の美と優雅さを追及した仕上げ材

シ ー エ ル 5

～人に優しく、自然環境に適した居住空間を持つ安心な住まい～

【シーエル 5】

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0305238
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

シーエル 5

白仕上げの代表はなんと言っても消石灰と糊をベースにした「しっくい」及び「プラスター」仕上げだと思いますが、現在では昔ながらの本漆喰仕上げの出来る技術者は全国でも大変数少なくなりました。

そこで、簡易的なプレミックスの漆喰壁を各メーカーが数多く開発、販売し、施工性の良さから多くの業者の方から支持を得て多くの現場で施工されています。

しかし、悲しいことに表面強度が弱く耐水性に乏しいと言う欠点と乾燥下地への施工が困難等多くの諸問題を残したまま長年に渡り施工されてきております。

こうした「しっくい」や「プラスター」のもつ従来の欠点を解決し、ハードな表面にもかかわらず漆喰のようなきめ細かさと白さを生かした「シーエル5」は、日本の伝統的な建造物をはじめ洋風建造物にも採用できる、漆喰風仕上げの白色セメント系モルタルです。

〔目 的〕

この施工マニュアルは「シーエル5」の塗り工事に於ける品質基準の確保と低亀裂性、耐久性等を追求する為のものです。

〔用 途〕

「シーエル5」は従来のしっくいの弱点である、表面強度、耐水性、更には下地の精度など問題になり易かった点を補い、作業性の良さを強調して皆様の期待にお応えできる漆喰風仕上げの白色セメント系モルタルです。

〔適用下地〕

・モルタル ・コンクリート ・プラスターボード

※表記適用下地に「シーエル8」を中塗りしてからの施工が原則です。

〔使用材料〕

「シーエル5」	20kg/防湿紙袋入り
「シーエル8」	20kg/防湿紙袋入り
「NICE ラテックス」(高性能アクリル樹脂)	／18kg 缶入り、4 kg, 1 kg ポリ容器入り ※吸水調整材、およびモルタル接着増強剤
「CLタフガード」	ビニロン繊維のFRC補強メッシュ 幅 [1 m, 33 cm, 20 cm, 10 cm] の4種類 全て 100 m 巻き
「KCコート」(浸透性撥水剤)	／16ℓ, 4ℓ缶入り

[調 合]

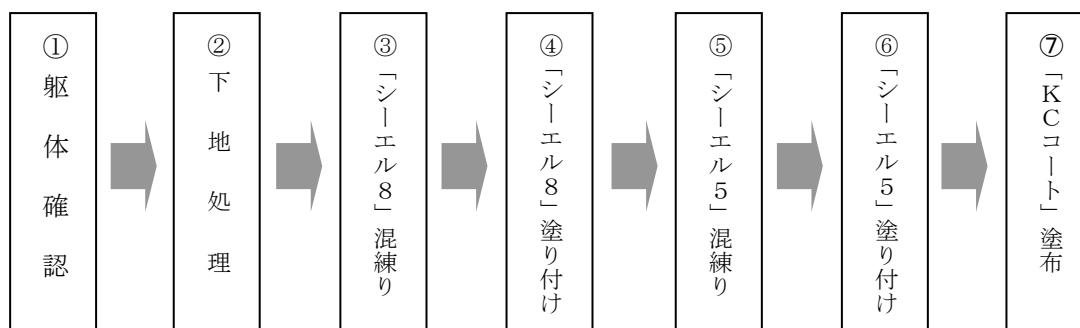
シーエル 5	20 kg / 袋
清 水	約 6 ~ 7 ℓ

練り上がり量 : 約 16 ℓ
標準塗厚 : 約 1 ~ 2 mm
標準施工面積 : 約 16 m² / (1 mm厚 / 1袋)

シーエル 8	20 kg / 袋
NICE ラテックス #45	約 0.5 ~ 1 kg
清 水	約 4 ℓ

練り上がり量 : 約 14 ℓ
標準塗厚 : 約 3 ~ 4 mm
標準施工面積 : 約 3.5 m² / (4 mm厚 / 1袋)

[施 工 工 程]



〔施工方法〕

● 「モルタル、コンクリート下地」の場合

① 躯体確認

- 1) 施工前に躯体温度が5℃～40℃の範囲内（適正温度）であるか確認し、範囲外であれば水打ち、シート養生等して適正な温度にして下さい。

※躯体が高温度の場合、ドライアウト、亀裂、浮き、剥離等の原因となり、低温度の場合接着不良、硬化遅延、ズレ、剥離、白華等の原因となります。

- 2) コンクリートに施工する際には壁面のピンホール、ジャンカ、段違い面などが綺麗になおかつフラットに補修してあるか、モルタル下地に施工する際には、モルタルの表面がフラットに仕上がっているか、また、硬化不良、浮き、ひび割れなど「シーエル8」の塗りに支障がないかを点検し、支障のある場合は管理者と協議の上適切な処置を講じて下さい。

※モルタル下地が、サンドモルタル系の場合は施工を避けて下さい。（モルタル下地の詳しくは「ベースモルタルB」標準施工マニュアルを御覧下さい。）

※コンクリート下地が、JASS 5〈鉄筋コンクリート工事〉の標準を満たしていない場合は、施工を避けて下さい。

② 下地処理

- 1) モルタル下地（コンクリート）と「シーエル8」との界面の付着強化を増強するために、モルタル表面のエフロ除去を徹底して下さい。

- 2) さらに「NICE ラテックス」の3倍液（「NICE ラテックス」 1 : 清水 2）を壁面全体に充分塗布し、乾燥させて下さい。（養生期間 1日）

※1) は「NICE ラテックス」の10倍液を作り刷毛、ブラシで壁面を掃きながら、エフロ除去はもちろんのこと、ドライアウトも併用して防御して下さい。

③ 「シーエル8」混練り

「シーエル8」 …… 1袋 (20kg)	「NICE ラテックス」 ……0.5～1 kg	清水 …… 4ℓ
----------------------	-------------------------	----------

- 1) まず、バケツ等の容器に清水4ℓを入れ、続いて「NICE ラテックス」を0.5～1 kg 入れて良くかき混ぜ混合水を作ります。
- 2) 標準水量より少なめの混合水（あらかじめ「NICE ラテックス」を希釈した水溶液）をバケツもしくはミキサー等の混練り容器にとり、「シーエル8」を加えながら混練りして下さい。
- 3) 続いて残りの混合水を少量ずつ加えて混練りし、適度の軟度に調整して下さい。

④ 「シーエル8」塗り付け

- 1) モルタル下地の表面確認後、良く混練りされた「シーエル8」をシゴキ塗りし、追っかけて3mm～4mm程度の塗り厚で塗り付け、タイミングを見計らい平滑に仕上げして下さい。
- 2) 「シーエル8」の水引、しまり具合を見て「シーエル5」を塗り付けて下さい。

※「シーエル8」を乾燥させすぎると上塗りする「シーエル5」を塗り付けた時にエア噛み等起こす場合があります。そのような場合や、同日施工を行わない場合は*注1を御覧下さい。

⑤ 「シーエル5」混練り

「シーエル5」 …… 1袋 (20kg)

清水 …… 約 6～7ℓ

- 1) 標準水量より少な目の清水をバケツ他ミキサー等の混練り容器にとり、「シーエル5」を容器に加えながら混練りして下さい。続いて残りの清水を少量ずつ加えて混練りし、適度の軟度に調整して下さい。

※規定水量以上の清水で混練りすると亀裂の原因やエフロが発生し易くなります、ご注意ください。

⑥ 「シーエル5」塗り付け

- 1) 「シーエル8」の表面状況を確認後下地とのなじみを良くし、尚且つブツの発生を抑える為鍍圧を十分かけてシゴキ塗りし、追っかけて所定の塗り厚 1mm～2mm 程度、平滑に塗り付けて下さい。
- 2) 水引の頃合いを見計らって平滑に仕上げして下さい。
※鍍仕上げの場合はモルタルが鍍焼けしないプラスチック鍍で仕上げして下さい。
- 3) 養生して下さい。(夏期 1日 冬期 2～3日以上)

⑦ 「KCコート」塗付

- 1) 「KCコート」を希釈せずにそのまま、ローラーや噴霧器等でムラにならないように全面塗布して下さい。塗布量は 10～25 m² (4ℓ当り) です。

※「シーエル5」の撥水、吸水防止及び白華抑制に優れ耐候性、耐久性が向上し美観を長期にわたり保ちます。

● 「プラスターボード下地」の場合

① 躯体確認

1) 施工前に躯体温度が5℃～40℃の範囲内（適正温度）であるか確認し、範囲外であれば採暖、シート養生等の保温対策をして適正な温度にしてください。

※躯体が高温度の場合、ドライアウト、亀裂、浮き、剥離等の原因となり、低温度の場合接着不良、硬化遅延、ズレ、剥離、白華等の原因となります。

2) プラスターボードは厚み12.5mm以上をご使用下さい。

3) プラスターボードの取り付けは千鳥のダブル張り、目地部は5mmの目通しを設け、ステンレスビス（3.8mm×38mm以上）を使用し、15cm以内の間隔で下地柱、胴縁にしっかり固定されているか確認して下さい。

※ボードは表面が極力平滑になる様下地を調整して取り付けして下さい。

※ボードの目通し部分の動きが無いように受木を設ければジョイント部分のクラック、亀裂の発生を更に防ぐ事が出来ます。

※天井面のボードは10cm以内の間隔でビス止めを行って下さい。

4) 上記項目を点検し、支障のある場合は管理者と協議の上適切な処置を講じて下さい。

② 下地処理

1) サッシ、扉、柱、床等汚れてはいけない個所に全面、養生テープ、ビニールシート等で完全に養生をおこなって下さい。

2) プラスターボードの取り付け状態、欠損、歪み等が無い事を確認し、「NICE ラテックス」の3倍液（「NICE ラテックス」 1 : 清水 2）を壁面全体に充分塗布し、乾燥させて下さい。（養生期間 1日）

③ 「シーエル8」混練り

「モルタル、コンクリート下地」の場合と同様です。

④ 「シーエル 8」 塗り付け

- 1) 良く混練りされた「シーエル 8」をプラスターボードのジョイント部に塗り付け、その上に 10 c m幅の「C Lタフガード」をサンドイッチ状になる様に鋸で埋め込んで下さい。

※他にも開口部廻り等、クラックの発生しやすい部分は同等の作業を行って下さい。

※出隅入隅のコーナー部分、天井面ジョイント部には「C Lタフガード」の幅 20 c m以上の物を使用して下さい。

- 2) ジョイント部の乾燥状態を確認しながら壁面全体に「シーエル 8」をシゴキ塗りし、追っかけて、所定の塗り厚 3 ~ 4 m m 程度を極力平滑に塗り付けて下さい。

※天井面には、標準塗厚より約 1 m m ほど薄い目に塗り付けを行って下さい。

※「シーエル 8」の水引、しまり具合を見て「シーエル 5」を塗り付けて下さい。

⑤ 「シーエル 5」 混練り、⑥ 「シーエル 5」 塗り付け、⑦ 「K Cコート」 塗付

は「モルタル、コンクリート下地」の場合と同様です。

*注 1

本書は「シーエル 8」「シーエル 5」同日塗り付けの場合の手順を掲載しています。同日施工されない場合は「シーエル 8」乾燥後、全面プライマー処理を施し完全乾燥（養生期間 1 日）させた上で「シーエル 5」の塗り付けを行って下さい。その際、標準塗厚より約 1 ~ 2 m m 程度、厚めに塗り付けを行って下さい。塗厚が薄すぎると鋸で押えた時に骨材が転がり仕上がりが悪くなる場合があります。

使用上の注意事項

本品は厳重な品質管理のもと、工場にて製造された既調合品です。

「使用上の注意事項」及び「取扱い時の安全対策（概要）」を確認の上、安全対策には十分留意してご使用下さい。

1. 既調合品の為、指定材料以外のものを練り混ぜないで下さい。なお、混練りには水道水等の清水を使用して下さい。
2. 混練りした材料は夏期1時間、冬期2時間以内に使用して下さい。練り足しや加水して練り直しをしないで下さい。
3. 強風や直射日光等による急激な乾燥を防止するため、シート養生等適切な措置をして下さい。
4. 本品使用時の施工は、気温が5℃～35℃の範囲内で行ってください。
5. 製品の製造年月日を確認し、製造から6カ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。
6. 下地コンクリートが、JASS5（鉄筋コンクリート工事）の標準を満たしていない場合は施工を避けて下さい。
7. 悪天候（降雨、降雪等）、またその恐れがある場合は施工を避けて下さい。

取扱い時の安全対策（概要）

・ 取扱い及び保管上の注意

1. 目や皮膚等に触れないように適切な保護具（保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等）を着用して取り扱って下さい。また、取扱い後は顔、手、口等を水で洗浄して下さい。
2. 製品の保管は、セメント同様の取扱いとし、雨露のかからない屋内の湿気の少ない場所に、床面から離して保管して下さい。

・ 応急処置

〔目に入った場合〕

直ちに清浄な水で最低15分間洗浄し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。

〔皮膚に付着した場合〕

速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔吸引した場合〕

速やかに新鮮な空気のある場所に移動し、水または温水でうがいを行って安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔飲み込んだ場合〕

水でよく口の中を洗う等して、直ちに医師の診断を受けて下さい。

・ 濾出時の注意

飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め空袋等に回収して下さい。

・ 廃棄上の注意

廃棄する製品や混練り材等は硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水等の排出は水質汚濁防止法等に注意して下さい。

・ 輸送上の注意

破袋、荷崩れ、落下等の防止策を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。

※本マニュアルの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

プレミックスの開発メーカー



株式会社

豊運



本社・営業本部 〒546-0003 大阪市東住吉区今川3丁目12番4号

TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133

東日本営業部 TEL 0247-54-3232 FAX 0247-24-1004 岡山営業部 TEL 0868-38-4001 FAX 0868-38-7022

大阪営業部 TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133 京都営業課 TEL 0771-86-0711 FAX 0771-86-0811

URL: <http://www.ho-un.co.jp/>